

レコード持

## 「音楽カ」

レコードにまつわる思い出を話す学生



トをスクリーンに映し、それぞれに思い出を語った後、レコードをかけた。

講演では長野保健医療大の春原みづな教授が、音楽カフェを開く効果について「主権者は社会的役割を持ち、子になかるとし「幸せな人は長寿である」と研究でも証明されている。地域に音楽カフェがあれば、みんなの幸福感が上がる。まちづくりの一助にしてほしい」と呼び掛けた。



レ・マシクの仕組みや手の動かし方、観客の視線誘導などを教えた。

2種類のひもが入れ替わるマジックに

信州の地酒  
純米酒  
本老  
モトオキノマツ  
株式会社東飯田酒造店  
長野市篠ノ井小松原1724

移動手術車で猫の不妊・去勢手術をする獣医師

松本信賢さん

移動手術車は手術台と獣医療機器を搭載。連携する保護猫活動団体の拠点に向き、団体が捕獲した飼い主のいない猫の一斉手術を

請け負う。手術を終えた猫は目印の「耳カット」をして地域に戻

す。手術代は一般の動物病院に比べて安価に抑えている。

「以前は手術のたびに動物病院に何度も猫を運んでいた団体や、

## 人と猫共生できる社会に

動物病院のない山間部の愛猫家などから喜ばれている」という。

大学卒業後、栃木県の動物病院に3年勤務し、長野県の職員にな

する姿に「野良猫を救いたい」という強い意志を感じた。

半面、「ボランティアがいなくなったら、保健所で保護した猫はどうなるのか」と危機感を覚えた。「ボラン

ティアの負担が少しでも軽くなるように」と、動物用の移動手術車を思い付いた。

10年間勤めた県職を辞め、20(令和2)年に「しんけん動物病院」を開業して移動手術車での出張手術を開始。翌年には富田に手術室も構えたが、出

ながの  
人模様

ワゴン車を改造した動物用の移動手術車で長野県の各地や新潟県の一部を巡り、野良猫の不妊・去勢手術をしている。その数は年間約2千匹。「野良猫の繁殖を防ぎ、殺処分される猫を一匹でもなくしたい」との思いだ。



った。松本保健所に勤務していたとき、野良猫を捕獲したり保健所から引き取ったりして動物病院で不妊化手術を受けさせている動物愛護家に出会った。手術した猫は自宅シェルターに保護し、譲渡先を探す。昼夜なく活動

も軽くなるように」と、動物用の移動手術車を思い付いた。

10年間勤めた県職を辞め、20(令和2)年に「しんけん動物病院」を開業して移動手術車での出張手術を開始。翌年には富田に手術室も構えたが、出

張手術に大半の時間を費やす。

不妊化手術と並行して力を入れるのが正しい飼ひ方の啓発活動だ。「知識のある飼い主が増えれば結果的に動物愛護につながる」と考える。最近講演の依頼も多く、手術や講演会の予定は2カ月先まで埋まっている。

ただ、1人で長野県全体をカバーするには限界があり、他の獣医師の協力や行政の助成金の必要性を感じている。「みんなで協力し、人と猫が共生できる社会を目指したい」と力を込めた。

(佐藤愛)

〈まつき しんけん〉40歳。上駒沢出身。長野高校、麻布大獣医学部を卒業。金箱で妻と子どもと暮らす。